

ファーストペンギン通信

第4号

2025年6月3日(火)

発行人

八王子実践中学校

教頭 石川 敦史

体育祭

令和7年5月9日(金)東京フットボールセンター八王子富士森競技場にて体育祭が開催されました。今年度も生徒会が中心となって、企画・種目の選定・プログラム作り・事前準備・当日の運営まですべてが生徒主体でおこなわれました。

本校の体育祭は誕生月で6つの色に分かれて競います。1・7月:緑、2・8月:赤、3・9月:黒、4・10月:青、5・11月:黄、6・12月:桃に中学1年生から高校3年生までの生徒はもちろん教員も色分けされます。

開会式、準備体操に続く最初のプログラムは中学全員リレーです。1人100mずつ走り、学年対抗で競うもので今年度初めておこなわれました。学年により人数が異なるので2回走ったり、200m走ったりする人もいます。走順も学年ごとに話し合って決めました。



1周400mなので生徒たちはそれぞれ4カ所に分かれて待機します。スタートすると待機している生徒たちは走る選手を大きな声で応援します。途中何度も順位が入れ替わり最後まで目が離せない接戦でしたが、2年生が1位、3年生が2位、1年生が3位となりました。1位の2年生には賞品として校内コンビニエンスストアのアイス券が贈られました。

大縄

午前最終競技は中学1年生から高校3年生まで全員が参加する大縄跳びです。各クラスが2分間で跳んだ回数の累計で競います。クラス全員で跳ぶので息を合わせないと回数を重ねることができません。目に見える協同作業です。開始前には各クラスで円陣を組み、気合いを入れています。



開始の合図で回し手が「せーの」と掛け声をかけ、みんなで数を数えながら跳びました。結果は1年生が12回、2年生が64回、3年生が30回で、2年生が優勝しました。

お昼休憩をはさんで午後の最初の競技は中学生による玉入れです。サッカーフィールドのセンターサークル(半径9.15m)に6名の教員がそれぞれ自分の色ではないゼッケンをつけ、大きなカゴを背負って登場します。サークルの外側には玉を持った生徒たちが取り囲みます。スタートの合図で生徒たちは自分のチームと同じ色のゼッケンをつけている先生のカゴを目掛けて玉を投げ込みます。先生は走り回るので、流れ玉が当たってしまう…ということもありました。2回の合計数が99個で黄が1位、60個で赤が2位となりました。



緑	赤	黒	青	黄	桃
8個	60個	52個	15個	99個	38個

午後の競技では「部活動リレー」、「障害物競走」、「色別対抗リレー」にも中学生が出場し、高校生とともに各チームの勝利に貢献していました。総合成績612点で黄団が優勝しました。

緑	赤	黒	青	黄	桃
357点	478点	389点	387点	612点	377点

体育祭を終えての感想

- ・とても思い出に残る1日になりました。黄団は仲間と力を合わせて全力で競技に臨み、見事に優勝することができました。最初はうまくいかないこともありましたが、みんなで声を掛け合い、最後まで諦めずに頑張った結果が優勝という形で実を結び、とても嬉しかったです。(1年生)
- ・中学全員リレーは走る順番を話し合って決めて、練習を重ねました。当日は走っているクラスメイトをみんなで応援して盛り上がり、クラスが一致団結して1位になることができて、クラスの仲がさらに深まりました。(2年生)
- ・リレーでは自分の全力を出し切って走れたと思います。大縄では去年は3回だったにも関わらず、今年は30回と10倍も多く跳ぶことができました。3年目になると一気に団結力が増すと同時に大縄に慣れたからこそこんなに跳べたんだと思います。(3年生)